

【活動報告】

◆結成まで（2021年1月～4月）

1/24（日）結成準備会の開催（結成呼びかけ人を中心にして）

※1/24段階 呼びかけ人は34人⇒総会までに呼びかけ人を増やすことに努力

※共同代表3人の決定

※暫定事務局員メンバーで手分けして諸準備

政党・議員への総会参加呼びかけ、会員募集チラシ作成、大型横断幕（1枚）作成

4/4（日）結成総会の開催

※約60人の参加で実施

※稲富修二衆議院議員（立民）冒頭のみ参加で挨拶、県連からの参加はなし

倉元達朗市議（共産）、村山県連幹事長メッセージ（社民）、荒木龍昇市議（緑）

清水みちこさん（ネット）による挨拶

※事務局体制、規約その他の承認

※「とうひょうくん」横断幕の披露

※「福岡2区市民連合の会員募集チラシ」お持ち帰り

※呼びかけ人には会員への移行をお願い、会費（1000円）徴収

（これ以降、会員は少しずつ増え、現在94人になっている）

★宣伝媒体など

・チラシは名刺も含めると計12000枚作成し、配布・投函した。

3月に3000枚（7280円）

4月に名刺3000枚作成・QRコードのみ記載（13574円）

4月に追加3000枚・QRコード記載（7610円）

5月に追加3000枚・QRコード記載（7610円）

※会員募集の形を取っているため、街宣用を残し、夏前には投函など依頼済み

※チラシ残部は、街宣で全て配布済み

・ホームページ（三好永作さんが作成・管理）

・会員ML（登録は82人）と事務局ML（ともに有田光希さんが作成・管理）

・LINEグループ（有田光希さんが作成・管理、現在登録は32人）

・メールなしの方（10数人）へは、4月～8月に通信を郵送（古賀さんが郵送担当）

◆結成以降～（2021年4月～12月）

※4月に「稲富修二さんと語る会」の設定を試みるが、第4波コロナ禍であったこと、解散・総選挙があるかもしれないといった状況で、稲富議員側からの同意が得られず設定なし。

※2区内で行われていた19日行動（南区・城南区）MLで紹介し参加を呼びかける。

4/25 (日)「市民連合について」勉強会の開催

※約20人が参加、稲富さんと話す会のテーマ設定

5月初め～6月初め 政党代表など(立民・共産・社民・れいわ)との話し合い

市民連合ふくおかの呼びかけ、2区からは黒澤共同代表が4回とも参加

6/27 (日)「稲富修二さんと話す会」開催

※稲富さんはZOOM参加、会場参加のみの閉鎖型で実施 ※以後の方針も話し合い

7/9 (金) 第1回六本松街宣 市民中心、野党議員なども参加し政党ノボリ旗が並ぶ
ライブ配信も実施

※立民・共産の市議、社民役職者、ふくおか緑代表、ネット城南代表

※稲富議員からはメッセージ文が届く(読み上げて紹介)

※立民・県連内部で政党ノボリ旗についての規制が強まる契機となる

⇒「とうひょうくん」ノボリ旗10枚作成

8/5 (木) 第2回六本松街宣 市民中心、「とうひょうくん」ノボリ旗を並べる

※立民・共産の市議、社民役職者、ふくおか緑代表、ネット城南代表

8/7 (土) 稲富修二さんと共同代表3人で会談

⇒「衆議院選における共通政策の提言」(6月提言)を口頭での同意をいただく

⇒稲富さんを、福岡2区内での「応援候補」とする

(全国 9/8政策合意)

(自民党総裁選・メディアジャック⇒自民・岸田は、10月初めに指名・解散断行)

9/13 (月)

稲富修二さんのリーフレット200枚などを、通信・衆議院選ガイドブックとともに
会員全員へ郵送

9/21 (火) 県内10団体と1有志による共同声明と記者会見実施

2区からは共同代表の黒澤さんがZOOM参加

共同声明文は、市民連合ふくおかがチラシ7万枚で配布・投函

9/23 (木・祝日) 第3回六本松街宣 市民中心、「とうひょうくん」ノボリ旗を並べる

※立民・共産の市議、社民役職者、ふくおか緑役職者、ネット城南代表

れいわ関係者

(全国 9/30立民と共産・社民・れいわの党首会談、立民・共産の確認)

(全国 立民・共産との候補者調整が本格化)

10月初め 立民・県連、社民・県連、共産・県委員会へ一本化要請

市民連合ふくおかが実施、2区も賛同し参加

10/3 (日) 総かがり主催の県下一斉行動 天神地区で参加「とうひょうくん」ノボリ旗

10/8 (金) 第4回六本松街宣 市民中心、「とうひょうくん」ノボリ旗を並べる

※立民・共産の市議、社民役職者、ふくおか緑役職者、ネット城南代表

れいわ関係者

※稲富議員は音声で参加(岸田首相の施政方針演説の当日)

10/8（金）稲富修二議員秘書と共同代表3人で会談

⇒「9/8政策合意」について口頭での合意を得る

選挙の手伝いなど確認

（県内 10/13共産党・県委員会が5区・7区の候補者引き下げ

⇒福岡2区を含めた県内6選挙区で野党統一候補が確定）

10/16（土）第1回練り歩き散歩（渡辺通り） 「とうひょうくん」ノボリ

10/17（日）共産党中央・南委員会主催の会で、井下共同代表が挨拶

（全国 総選挙10/19公示～10/31投開票、期日前投票も10/20よりスタート）

10/23（土）第2回練り歩き散歩（日赤通り）「とうひょうくん」ノボリ・プラカード

10/30（土）第3回練り歩き散歩（天神西通り）「とうひょうくん」ノボリ・プラカード

※選挙期間中は、稲富事務所にボランティアで入る

約10人が複数回入る、証紙貼り・電話かけの手伝い など

※「でんカツ」で自宅からの電話かけ参加もあり

※共産党関係の事務所からの電話かけもあり

10/31（日）投開票

⇒稲富修二さんは、選挙区では惜敗し比例区復活（午前3時前に決定）

【会計報告】

※別紙参照のこと

【福岡2区・選挙結果について □は増加した数値】

◆福岡2区の投票率（2017年総選挙と比較）

中央区	2017年51.48%⇒2021年	<u>52.59%</u>	（約1.1%増加）
南区	2017年53.91%⇒2021年	53.78%	（ほぼ横ばい）
城南区	2017年56.38%⇒2021年	56.13%	（ほぼ横ばい）
福岡2区	2017年53.55%⇒2021年	<u>53.81%</u>	（0.26%微増）
福岡県	2017年53.31%⇒2021年	52.12%	（約1.2%下落）
全国	2017年53.68%⇒2021年	<u>55.93%</u>	

◆福岡2区・選挙区投票数（2017年総選挙と比較）

2017年	鬼木誠	稲富修二	松尾律子	2021年	鬼木誠	稲富修二	新開崇
中央区	40882	31615	6435	中央区	<u>40919</u>	<u>33577</u>	<u>11021</u>
南区	44925	46364	7026	南区	<u>45348</u>	44573	<u>11096</u>
城南区	23291	22959	4133	城南区	23120	<u>23108</u>	<u>5185</u>
計	109098	100938	17594	計	<u>109382</u>	<u>101258</u>	<u>27302</u>

※維新・新開崇さん、次期衆議院選福岡2区候補として確定

（事務局会議12/13での感想より）

※共闘の成果はあった（稲富票は中央区・城南区で増加、城南区は12票差）。

※立民・候補者側の問題は残る（街宣に姿を現さなかった、新潮記事など）。

※2017年票は減少＋共産票が上乘せ⇒南区以外では増加か？

※鬼木陣営の危機感は大で、夫婦で尽力していた姿は印象的であった。

◆福岡2区・比例票数（2017年総選挙と比較）

2017年	自民	公明	維新	立民	希望	社民	共産	幸福
中央区	30822	9070	4383	15001	13928	1221	4499	418
南区	34576	13744	5134	17509	19547	1583	5810	551
城南区	17435	7024	2382	9403	9542	886	3486	301
計	82833	29838	11899	41913	43017	3690	13795	1270

（自民・公明 112671）

（立民・希望 84930）

2021年	自民	公明	維新	立民	国民	社民	共産	れいわ
中央区	30435	8775	<u>12876</u>	<u>16971</u>	4423	<u>1366</u>	<u>4653</u>	<u>4027</u>
南区	33524	13511	<u>13396</u>	<u>22157</u>	4922	<u>1614</u>	5191	<u>4099</u>
城南区	16834	6854	<u>6385</u>	<u>11952</u>	2359	880	3192	<u>1905</u>
計	80793	29120	<u>32657</u>	<u>51080</u>	11704	<u>3860</u>	13036	<u>10031</u>

（自民・公明 109913）

（立民・国民 62784）

－2758

＋20758

－22146

(事務局会議12/13での感想より)

※自公票は減少している(約3000票弱)。

※立民・国民票は大幅に減少している(約2.2万票)。

※増加したのは維新票(約2万票)とれいわ票(約1万票)。

※投票率がもっと上がれば?

※立民(政党) 低支持率・不人気反映されているのでは?

※稲富事務所は、立民(政党)の政策をアピールする姿勢が弱かった。

※立民(政党) 野党共闘に対して消極でアピールがなかった。

※総体として、野党共闘批判への反撃は出来ていない。

【全国の総選挙結果について】

小選挙区 自民党 2017年218議席⇒2021年189議席 -29議席

野党系 2017年立民(18)・希望(18)計36議席

⇒2021年立民(57)・国民(6)計63議席 +27議席

比例区

自民・公明 2017年(2553万票、45.8%)⇒2021年(2703万票、47%) 横ばい

維新 2017年(339万票、6.1%)⇒2021年(805万票、14%) 520万票増

野党系 2017年4党(2610万票、46.9%)⇒2021年5党(2148万票、37.1%)

462万票減

投票率など

衆議院選(総選挙)の投票率の変化

2012年(59.32%)⇒2014年(52.66%)⇒2017年(53.68%)⇒2021年(55.93%)

国政選挙の投票率 2000年以降は50%台が多い 棄権5:自公維新3:野党2

高 2005年(郵政選挙)67.51% 2009年(民主政権交代)69.28%。

◆総議席の割合

自民(261)・公明(32)・維新(41)計334議席(71.8%)

国民(11)

立民(96)・共産(10)・社民(1)・れいわ(3)計110(23.7%)

⇒衆議院で改憲勢力が3/4を占める

2021年9月8日政策合意(6柱・20項目)・2020年9月15項目の提言 実現は厳しい

⇒左派・リベラル(・穏健保守)勢力を結集し拡大することが重要

2022参院選⇐2016参院選(全国32の1人区で野党が11議席を獲得)の改選予定

福岡県は3人区⇒投票率アップ・比例票を増やすこと。

自民・公明・維新で改憲政党が3議席独占することは阻止すべき。

※市民連合(中央)と野党間で政策合意が成立すれば、合意した政党とその候補を支援することは可能。

(参考) 2021年福岡県下の比例票 (2017年と比較 は数値増加)

自民 706790 (32.97%) ⇐ 728179 (33.1%)

公明 371843 (17.34%) ⇐ 380622 (17.3%)

計1078633 計1108801

維新 237590 (11.08%) ⇐ 102754 (4.7%)

立民 414722 (19.34%) ⇐ 388250 (17.6%)

国民 93864 (4.38%) ⇐ 希望374764 (17.0%)

計508586 計763014

共産 139724 (6.52%) ⇐ 161093 (7.3%)

社民 53427 (2.49%) ⇐ 52617 (2.4%)

れいわ 92833 (4.33%)

【事務局からの提案 2点】

①「組織改編を前提として団体を存続させること」

共同代表・事務局員の陣容について検討、HPなど存続

現・共同代表

井下顕さん (中央区)・黒澤節男さん (南区)・河野恆寛さん (城南区)

現・事務局長 片山純子

現・事務局員 中央区：酒井さん・山下さん・玉山さん

南区：別府さん・末永さん・(あとお一人)

城南区：古賀さん

会計：丸山さん

ホームページ担当：三好さん

ML・LINEグループ担当：有田さん

② ①を前提に「ネットワーク型へ再編する市民連合ふくおかに参加すること」

3区・11区以外の選挙区では市民連合(準ずる団体を含む)があることを前提にして、組織強化のために再編を図る予定(2022年2月には立ち上げ予定)。

再編後の市民連合ふくおかの役割 野党県組織との話し合い

県内情報の発信・共有を図ること

全国情報の発信・共有を図ること など

(注意点として)

- ・ 存続の場合、現会員の方々に継続参加の意思を確認する必要がある。
- ・ 存続の場合、2022年度の会費を徴収のこと。

(事務局会議12/13での意見より)

存続した場合、日常的な活動としては何が考えられるのか？

- ・ 街宣、勉強会、チラシ配布など。
- ・ 政治課題を議論・対話し、会員を増やす。
- ・ 投票行動を促すためには、有権者としての市民育成が大切ではないか。
- ・ 政治と生活が関連しあっていることを知ってもらう。
- ・ 生活感覚に沿った要求・スローガンをたてる。
- ・ 改憲4項目の問題点を批判したチラシを作成してはどうか。
- ・ 勉強会 気候危機問題・ジェンダー平等の問題など
野党系の地方議員らを招いて（地方議員との交流も深める）
- ・ 街宣での工夫として インタビュー形式（対話形式）、シール貼り、政策募集など